

教員養成の状況についての情報の公表について

一 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること (施行規則第 22 条の 6 第 1 号)

【教員養成の目標】

こども学科における人材育成（教員養成）の目標は、「現代社会のニーズに応えるべく、新しい教育・保育・子育て支援を創造し、子ども分野の専門的知識、技術を備え、実践力を発揮できる教員を育成する」こととしています。

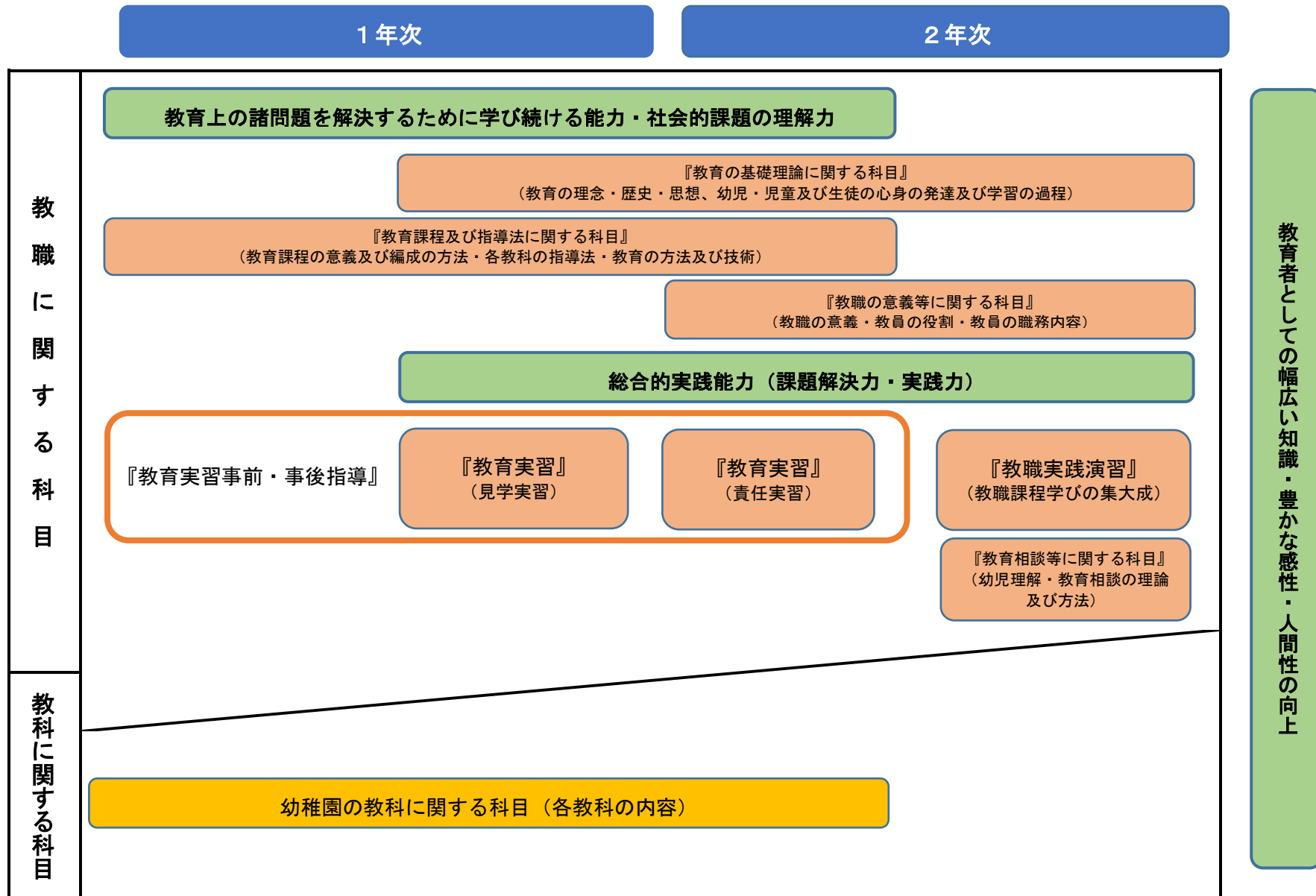
この目標に基づいて、どのような時代でも変わることのない幼児教育の本質と原理をしっかり習得し、子どもの生活に困難をもたらす家庭環境や障がいなど、さまざまな問題に対応できる能力を養い、常に子どもと共にあり、子どもとともに成長できる実践的スキルを身につけた幼児教育の専門家を養成します。

【目標を達成するための計画】

これらの目標を達成するために、次の具体的な資質や能力を備えた教員を育成することとし、教育課程における授業科目との関連性を明確にしています。

教育者として求められる資質・能力	到達目標	科目（教職課程関連科目を含む）
教育者としての幅広い知識・豊かな感性・人間性の向上	(1) 建学の理念と教養を理解し実践できる	「宗教」「共生論」「法学」「社会学」「文学」「哲学」「心理学」「経済学」「生物学」「権利擁護と成年後見制度」「情報処理演習」「英語Ⅰ～Ⅵ」「社会学」など
教育上の諸問題を解決するために学び続ける能力・社会的課題の理解力	(2) 保育・教育の本質や目的について理解し保育・教育に生かすことができる	「教育原理」「教育課程総論」「環境」「教師論」「教育社会学」「教育方法論」
	(3) 子どもの心や身体について、理解し、適切な対応が期待できる。	「発達心理学Ⅰ・Ⅱ」「健康」「教育心理学」「教育相談」「健康科学論」
課題解決力・実践力	(4) 教育技術に関する理論を理解し、子どもに対して実践できる。	「造形」「幼児体育」「言葉」「表現（リトミック）」「身体表現」「音楽Ⅰ」「自己表現・グループ表現」「図画工作」「体育実技」
	(5) 総合学習および実習を通じて教育に関する総合的実践能力を習得し、実践できる。	「保育実習Ⅰ-1、Ⅰ-2、Ⅱ、Ⅲ」「教育実習」「実習指導Ⅰ・Ⅱ」「教職実践演習」「総合演習Ⅰ」「総合演習Ⅱ」

《教員養成の目標を達成するための計画（概略図）》

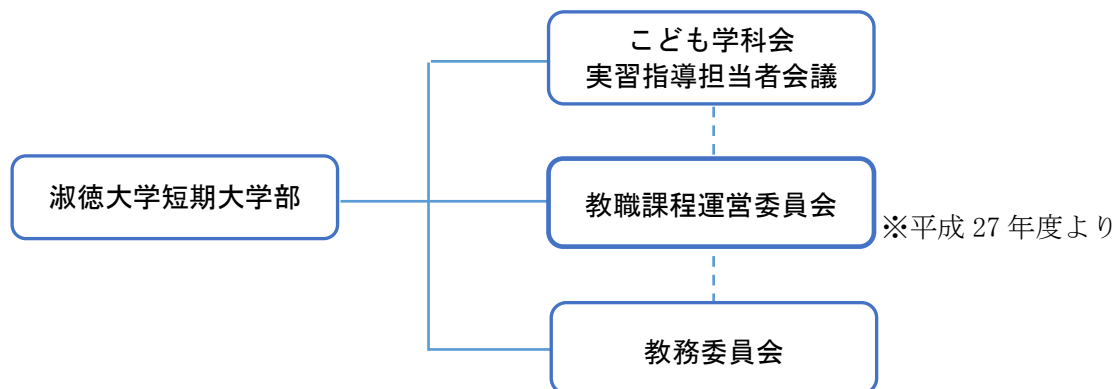


二 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること。

(施行規則第 22 条の 6 第 2 号)

【短期大学部組織】※平成 27 年度

《学内組織》



こども学科会及び実習指導担当者会議の場において、教職指導の企画・立案・実施、教育実習等における実習先との連携・協力、教職実践演習の実施と評価などを行うと共に、教務委員会においては、学科会や実習指導者会議と連携し、教職課程の編成やカリキュラムの検証と改善等を実施しています。

なお、平成 27 年度より「教職課程運営委員会」を組織し、教育内容のより一層の充実と教育水準の維持・向上に努めるための体制を構築する予定です。

【教職課程担当教員数】

幼二種免

区分	専 任			兼 担	兼 任
	教授	准教授	講師		
教科に関する科目	2	4	1	0	17
教職に関する科目	2	4	1	7	15

【教員組織】

幼二種免

教科に関する科目

専任等の別	職位	教員名	学位	担当授業科目
専任	教授	荒井 迪夫	学士 (体育学)	幼児体育
専任	教授	長谷部 比呂美	修士 (人文学)	国語
専任	准教授	浅木 尚実	修士 (文学)	国語
専任	准教授	佐藤 純子	博士 (家族社会学)	生活
専任	准教授	矢治 夕起	修士 (文学)	生活
専任	准教授	諸井 サチヨ	修士 (音楽)	音楽 I
専任	講師	山田 修平	修士 (教育学)	図画工作
兼任	講師	中西 一弘	学士 (体育学)	幼児体育
兼任	講師	樋口 恵理子	修士 (人文科学)	幼児体育
兼任	講師	尾葉石 真理	修士 (文学)	国語
兼任	講師	井田 康子	学士 (音楽)	音楽 I
兼任	講師	井下 幸枝	学士 (音楽)	音楽 I
兼任	講師	大塚 広子	修士 (音楽)	音楽 I
兼任	講師	上村 淑子	学士 (音楽)	音楽 I
兼任	講師	唐木沢 光江	学士 (音楽)	音楽 I
兼任	講師	菅 慶子	修士 (音楽)	音楽 I
兼任	講師	熊倉 妙	修士 (音楽)	音楽 I
兼任	講師	篠塚 恭子	修士 (音楽)	音楽 I
兼任	講師	寺井 ミカ	修士 (音楽)	音楽 I
兼任	講師	友渕 順子	修士 (音楽)	音楽 I
兼任	講師	野沢 妙子	学士 (音楽)	音楽 I
兼任	講師	本野 洋子	修士 (芸術学)	音楽 I
兼任	講師	山名 静子	学士 (音楽)	音楽 I
兼任	講師	丸山 富之	修士 (芸術学)	図画工作

教職に関する科目

専任等の別	職位	教員名	学位	担当授業科目
専任	教授	萩原 英敏	修士（文学）	発達心理学Ⅰ、教職実践演習 教育実習
専任	教授	田村 恵一	学士（社会福祉学）	障害児援助技術論Ⅰ 実習指導Ⅱ、教職実践演習 教育実習
専任	准教授	小藺江 幸子	修士（児童学）	教育心理学、教師論 人間関係、実習指導Ⅱ 教職実践演習、教育実習
専任	准教授	打浪 文子	修士（学術）	教育課程総論、実習指導Ⅱ 教職実践演習、教育実習
専任	准教授	池田 若葉	博士（医学）	健康、教職実践演習 教育実習
専任	准教授	馬場 結子	修士（文学・人間科学）	教育方法論、実習指導Ⅱ 教職実践演習、教育実習
専任	講師	中村 三緒子	修士（文学）	自己表現・グループ表現 教育課程総論、実習指導Ⅱ 教職実践演習、教育実習
兼担 兼担	教授 教授	荒井 迪夫 長谷部 比呂美	学士（体育学） 修士（人文学）	教職実践演習、教育実習 教育心理学、発達心理学Ⅱ 教職実践演習、教育実習
兼担	准教授	矢治 夕起	修士（文学）	教育原理、教育方法論 実習指導Ⅱ、教職実践演習 教育実習
兼担	准教授	浅木 尚実	修士（文学）	自己表現・グループ表現 実習指導Ⅱ、教職実践演習 教育実習
兼担	准教授	佐藤 純子	博士（家族社会学）	実習指導Ⅱ、教職実践演習 教育実習
兼担 兼担	准教授 講師	諸井 サチヨ 山田 修平	修士（音楽） 修士（教育学）	教職実践演習、教育実習 造形、実習指導Ⅱ 教職実践演習、教育実習
兼任 兼任	教授 准教授	塩野 敬祐 矢島 麻由美	修士（社会学） 修士（家政学）	教職実践演習、教育実習 教職実践演習、教育実習
兼任	講師	佐藤 キミ男	学士（教育学）	障害児援助技術論Ⅰ
兼任	講師	河野 志穂	修士（教育学）	教育社会学
兼任	講師	鈴木 香奈恵	修士（教育学）	教育課程総論
兼任	講師	小山 修	体育学士	健康
兼任	講師	中村 輝美	修士（社会福祉学）	環境、実習指導Ⅱ
兼任	講師	橋本 千鶴	修士（教育学）	言葉
兼任	講師	岸澤 藤子	修士（家政学）	言葉
兼任	講師	向山 陽子	修士（家政学）	人間関係
兼任	講師	森 千恵子	児童学学士	表現（リトミック）
兼任	講師	二瓶 野枝	学士（人文科学）	身体表現
兼任	講師	樋口 恵理子	修士（人文科学）	身体表現
兼任	講師	吉野 良子	-	音楽療法
兼任	講師	大西 頼子	修士（文学）	教育相談（カウンセリング含む）

【担当教員の業績】

幼二種免

教科に関する科目担当教員

H26.4.1 現在

教員名	著書	論文	発表	その他
荒井 迪夫	11	12	2	8
長谷部 比呂美	9	15	-	8
浅木 尚実	10	11	26	19
佐藤 純子	5	11	9	55
矢治 夕起	1	5	-	4
諸井 サチヨ	-	-	-	30
山田 修平	-	6	3	-
中西 一弘	1	1	-	5
樋口 恵理子	13	4	11	49
尾葉石 真理	-	3	-	2
井田 康子	-	-	-	289
井下 幸枝	-	-	-	137
大塚 広子	-	1	-	29
上村 淑子	-	-	-	40
唐木沢 光江	-	-	-	15
菅 慶子	-	1	-	94
熊倉 妙	3	1	1	12
篠塚 恭子	-	-	-	35
寺井 ミカ	-	-	-	27
友渕 順子	-	-	-	47
野沢 妙子	-	-	-	132
本野 洋子	2	1	-	46
山名 静子	-	-	-	133
丸山 富之	-	-	-	92

教員名	著書	論文	発表	その他
萩原 英敏	9	55	17	8
田村 恵一	21	10	2	3
小藺江 幸子	-	8	5	5
打浪 文子	-	14	19	5
池田 若葉	7	11	16	-
馬場 結子	-	11	6	6
中村 三緒子	-	23	9	-
荒井 迪夫	11	12	2	8
長谷部 比呂美	9	15	-	8
矢治 夕起	1	5	-	4
浅木 尚実	10	11	26	19
佐藤 純子	5	11	9	55
諸井 サチヨ	-	-	-	30
山田 修平	-	6	3	-
塩野 敬祐	13	20	7	40
矢島 麻由美	3	3	14	11
佐藤 キミ男	4	1	5	4
河野 志穂	1	15	14	-
鈴木 香奈恵	-	5	8	2
小山 修	25	48	53	8
中村 輝美	5	2	10	12
橋本 千鶴	-	-	-	9
岸澤 藤子	-	1	3	1
向山 陽子	7	9	-	5
森 千恵子	-	-	-	-
二瓶 野枝	-	2	-	38
樋口 恵理子	13	4	11	49
吉野 良子	1	1	3	4
大西 頼子	5	12	15	7

三 教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること。

(施行規則第 22 条の 6 第 3 号)

【教員の養成に関する授業科目】

幼二種免

科 目 名		単 位	必 選 区 分	授 業 形 態	開 講 学 年	
分野	法令指定科目					本学開講科目
免許法 66 条 6 関係科目	日本国憲法	法学(日本国憲法)	2	必修	講義	1 年
	体育	体育実技	1	必修	実技	1 年
		健康科学論	1	必修	講義	1 年
	外国語コミュニケーション	英語 I	1	必修	演習	1 年
		英語 II	1	必修	演習	1 年
	情報機器の操作	情報処理演習 I	1	必修	演習	1 年
情報処理演習 II		1	必修	演習	1 年	
教科に関する科目	国語	国語	1	必修	演習	1 年
	生活	生活	1	選択	演習	2 年
	音楽	音楽 I	2	必修	演習	1 年
	図画工作	図画工作	1	必修	演習	2 年
	体育	幼児体育	1	選択	演習	2 年
教職に関する科目	教職の意義に関する科目	教師論	2	必修	講義	2 年
	教育の基礎理論に関する科目	教育原理	2	必修	講義	1 年
		教育心理学	1	必修	演習	2 年
		発達心理学 I	2	必修	講義	1 年
		発達心理学 II	2	選択	講義	1 年
		障害児援助技術論 I (肢体不自由児・重症心身障害児)	2	選択	講義	1 年
		障害児援助技術論 II (知的障害児・発達障害児)	2	選択	講義	2 年
		教育社会学	2	必修	講義	2 年
	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程総論	1	必修	演習	1 年
		健康	1	必修	演習	1 年
		人間関係	1	必修	演習	1 年
		環境	1	必修	演習	2 年
		言葉	1	必修	演習	1 年
		表現(リトミック)	1	必修	演習	2 年
		造形	1	必修	演習	1 年
		身体表現	1	必修	演習	1 年
		自己表現・グループ表現	1	必修	演習	1 年
		音楽療法	1	必修	演習	2 年
	教育方法論	2	必修	講義	1 年	
	生徒指導・教育相談及び進路指導	教育相談(カウンセリング含)	2	必修	講義	2 年
教育実習	教育実習	4	必修	実習	1・2 年	
	実習指導 I	2	必修	演習	1 年	
	実習指導 II	1	必修	演習	2 年	
教職実践演習	教職実践演習	2	必修	演習	2 年	

【授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画】

<https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp>

四 卒業者の教員免許状の取得の状況に関すること。

(施行規則第 22 条の 6 第 4 号)

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
卒業生数	54 人	153 人	155 人	235 人	240 人
免許状取得者数	52 人	148 人	145 人	220 人	215 人

五 卒業者の教員への就職の状況に関すること。

(施行規則第 22 条の 6 第 5 号)

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
卒業生数	54 人	153 人	155 人	235 人	240 人
教員就職者数	20 人	60 人	66 人	79 人	79 人

六 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること。

(施行規則第 22 条の 6 第 6 号)

教員養成の質的向上のために、特に以下の点での取り組みを進めています。

- ① 子どもを取り巻く環境を少しでも良くする為には、子どもに関わる人々のために、時代や社会の養成にあわせた人材養成と養成プログラムが望まれる。その為、教育・保育・子育てに必要な豊かな実践力をもつ専門家の育成しうる知見とスキルの獲得に力を入れている。
具体的には、本学の「教育の質を保証する PDCA サイクル」に従い、教育課程レベルにおける学習成果の評価改善及び科目レベルにおける学習成果の評価改善を行っている。
- ② 教育実習に際しての事前事後指導については、事前学習として現職教員又は教職経験者との懇談などにより、事前に教育現場における実態学習を行っている。事後学習としては、教育実習の報告会及び反省会において現職教員又は教職経験者との懇談等を実施し、教育実習を通してその改善点や以降の学習に役立てている。
- ③ 学園傘下校である附属幼稚園（淑徳幼稚園・淑徳世の幼稚園）との連携を深めると共に淑徳大学短期大学部出身の現職教員との豊かなネットワークの下での教員養成を実施している。
- ④ 教職を目指す学生に対する「実習指導Ⅰ（1年）」「実習指導Ⅱ（2年）」を少人数制による個別指導を実施すると共に、「教職実践演習（2年）」をゼミ指導型にし、教員－学生が互いに顔の見える2年間の継続的担当指導を実現している。